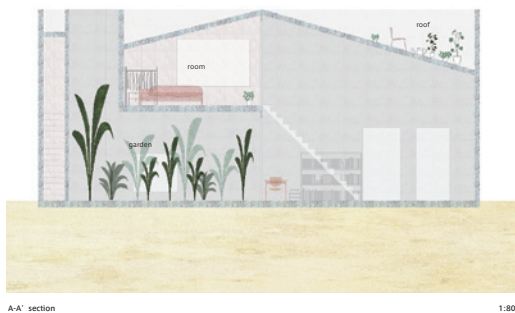
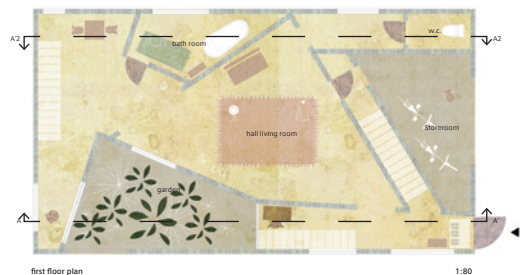
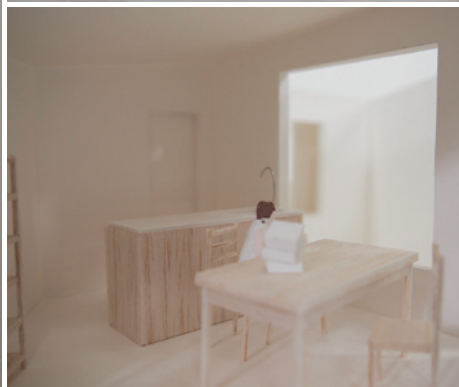
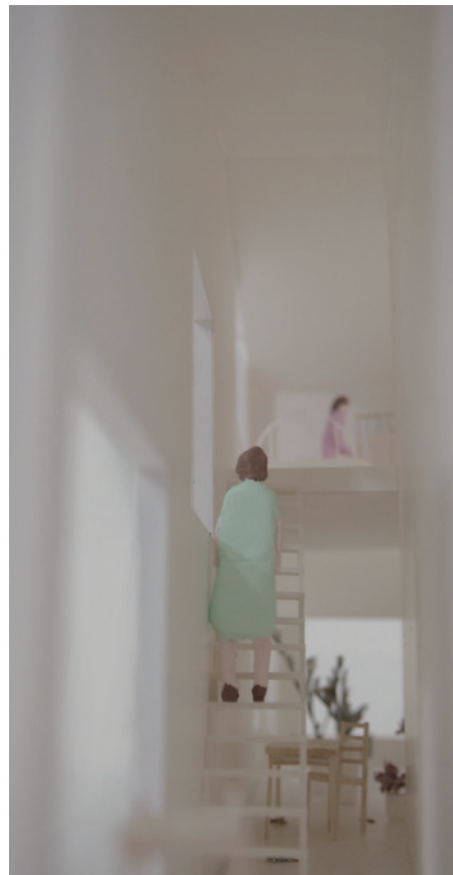


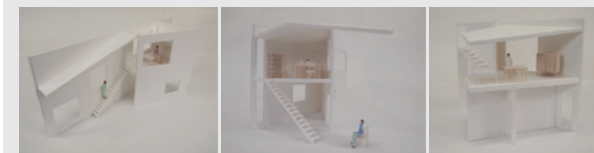


type a

〈壁に囲まれた屋根〉〈囲まれた空き地〉がつくる空間と関係性



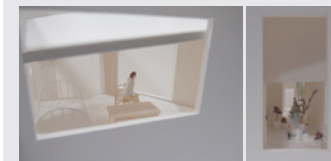
■〈屋根と壁〉のつくる均一ではない空間
屋根と壁によってできている3つの部屋と廊下部分は、ひとつながりでありながら屋根の勾配によって空間に変化をつくる



■〈囲まれた場所〉のつくる大きな明るい内部空間
外壁に囲まれているような内部空間であるホールは、閉鎖的でありながら開放的な場所となり各部屋同士の境目のような場所でもある



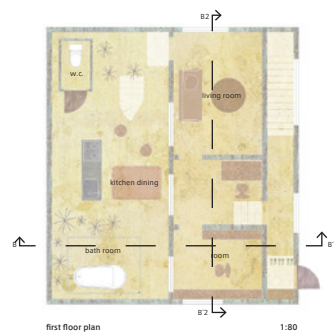
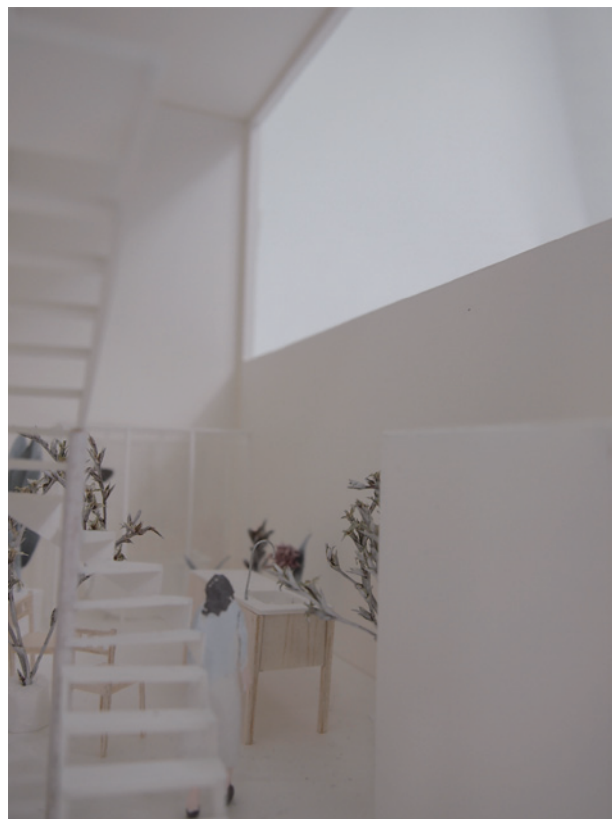
■〈屋根と開口、壁と開口〉外側からの見え方
屋根の傾きが開口に現れてくことで、外にこの空間を向けることができることや、内部と外部が連続したレイヤーとなって重なり、ひとつの開口からみえてくことで外側から見たときの想像の起点とならう





type b

《輪郭のある空洞》がつくる空間と関係性



first floor plan

1:80



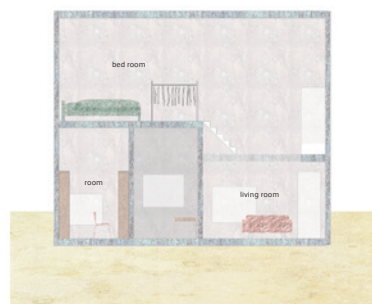
second floor plan

1:80



B-B' section

1:80



B2-B'2 section

1:80



空洞部分の見えの変化

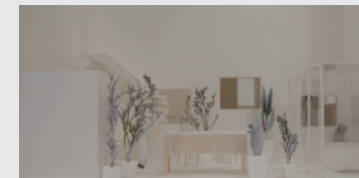
■《大きな開口》外と内での見えの違い

普段の生活にはないであろう大きな開口は、内側からは大きく空が切り取られるように表れ、天気や光によって空間が変化する。外側からはわからないままに観察したり突然人が表れる様子が見えたりと、この建物自体に想像を膨らませる起点となる。



■《外のような空間》内から内へ

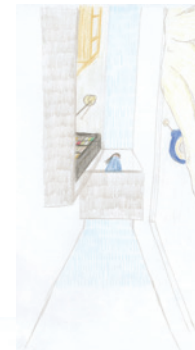
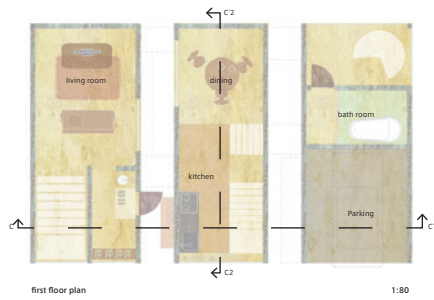
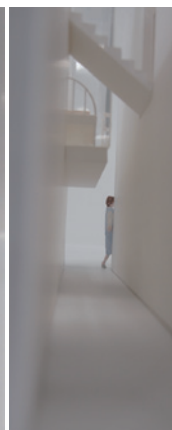
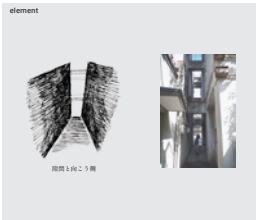
開口によりサンルームのような空間はこのリビングから入るときには外にでたような感覚をつくり、空間は大きなお風呂にも大きなキッチンにもトイレにもなり生活する時々で部屋の関係をゆるぶる。





type c

《隙間と向こう側》がつくる空間と関係性



■《建物ではさまれた隙間空間》すみかたが見える空間

2つの隙間空間に各部屋がはみだすように見えてきているここは外部であるが幅が狭く内部のようでもあり、こちら側とあちら側を開係づけるような場所となる



■《密集の中の抜け空間》感じ取る距離の変化

この3棟それぞれは広くはなく互いに密集しているがある場所にとつと突然遠くまで離れたり隣の建物の部屋が近く感じられる

■《すべての機を通る歩道空間》内部と外部を通りぬける空間

すべての機を通り抜ける歩道空間はそれぞれの部屋とは別の独立した散歩道のようにできている。3棟の内部空間と、それぞれの隙間にある外部の場所を通りぬけることができるので、家の廊下をあるいていながら街の中のすきまをあるいていくような感覚をつくる

